

令和3年度 学校経営方針

丹波篠山市立今田中学校

【校訓】

鍛えよう・考えよう・手をつなぎあおう

【学校教育目標】

主体的に学び 自己実現に向かう ころ豊かな生徒の育成

～ 「学ぶ姿勢」 「学ぶ喜び」 「学ぶ意欲」 ～

「主体的に学ぶ」とは

興味や関心を持って学ぶ。自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組み「学びに向かう態度」を持つこと。指導者は、学びたくなるようなしかけをする。

「自己実現」とは

目標や夢を持ち、その実現に向けて具体的に努力することによって、自らの幸福な人生を創り出していくための力や態度を身につけること。社会的・職業的自立に向かう意欲を持つこと。

「ころ豊か」とは

失敗を恐れずにチャレンジする心、困難なことにもくじけない強い心、他者とコミュニケーションをとりながら互いの良さを生かして協働する心を持つこと。

【学校経営の基本方針】 ～全ては「信頼関係」から～

生命及び人権尊重の精神を基盤に、生徒・保護者・地域との信頼関係、さらに教職員相互の信頼関係を構築することにより、はじめて学校教育目標は実現できる。その信頼関係はお互いへの「敬意」「対話」「行動」によって築かれる。

①令和3年度「兵庫の教育」「丹波篠山の教育」に基づいた教育活動を推進する。

兵庫県の教育理念「兵庫が育む ころ豊で自立すつ人づくり」
丹波篠山の教育理念「一人一人が光り輝き、生きがいをめざす」のもと、7つの施策の基本方向をふまえた教育活動を展開する。

②組織的できめ細かな生徒指導体制を確立し、いじめや不登校の未然防止・早期対応を徹底する。また情報モラル教育を保護者や関係機関と連携して推進する。

全ての生徒を全ての教職員で育成するため、情報交換を密にしながら、組織的な生徒指導（共通理解・共通実践）を徹底する。また、情報モラル教育を計画的に進めるとともに、ノート指導や教育相談により、人間的なふれあいに基づいた、生徒の心に寄り添う生徒指導を進める。

③「わかる授業」「達成感のある授業」を展開し、学ぶ喜びが味わえる学校づくりを進める。

生徒一人1台タブレットの活用方法を研究し、「学び合う活動」を充実させ、自分の考えを堂々と発表できる「情報活用能力」「表現力」「発信力」を育成する。基礎・基本の力を伸ばすために、予習を中心とした家庭学習を工夫し、個々の生徒に適した学習方法を徹底指導する。

④地域や保護者と連携しながら、事故やけがのない安全な学校づくりを進める。

学校運営協議会や地域住民や保護者の協力体制を確立するとともに、教職員の登下校指導、安

全点検を徹底する。授業や訓練を通じて、「危険予知力」「危機回避能力」等「自己安全管理」を生徒に周知する。

⑤丹波篠山の自然・文化・人を活用したふるさと教育に積極的に取り組むことで、郷土に対する誇りと愛情を育み、地域貢献への意欲を高める。

篠山の自然・文化・人に学ぶことによって、郷土への愛情と誇りを育むとともに、ボランティア活動を通して、ふるさと今田に貢献する態度と意欲を育てる。また、コミュニティスクール事業を通して、地域とともにある学校づくりを推進する。

【目指す生徒像】

「学ぶ姿勢」「学ぶ喜び」「学ぶ意欲」を持つ生徒 ～褒めて伸ばす！～

「学ぶ姿勢」

授業を大切にし、当たり前のことが当たり前にできる生徒（授業規律・あいさつ・清掃・時間）

「学ぶ喜び」

主体的な学びの中で自分の成長を実感し、意見や考えを出し合い、ともに伸びようとする生徒

「学ぶ意欲」

目標や夢を持ち、その実現に向けて具体的な努力ができる生徒

【目指す学校像】

- 生徒が自らの生き方を真剣に考え、夢や目標を持っていきいきと生活できる学校
(信頼できる仲間や教職員に囲まれ、目標や夢に向かって挑戦し、成長が実感できる学校)
- 生徒の健康や安全を守り、危機に的確に対応し、自己安全管理ができる生徒を育てる学校
(安全で安心な学校、信頼できる教職員がいる学校、我が子の力を伸ばしてくれる学校)
- 地域から信頼され、家庭や地域と協力して生徒を育てる学校
(ふるさと今田のために貢献しようとする意欲を持つ生徒を育てる学校)
- 教職員にとって、やりがいがあり、働きやすい学校
(教職員が互いに信頼し合い、それぞれの持ち味を生かしながら協働できる学校)

【目指す教職員像】 「楽しく 厳しく さわやかに」

- 情熱と愛情を持ち、率先垂範し、自らの信念を生徒に一生懸命語れる教職員
- 教育公務員としての使命と誇りを持ち、専門性を磨き、指導力や授業力を高めるために学び続ける教職員
- 軽快なフットワークで地域へ出向き、地域の方々に顔を覚えられる教職員
- 新学習指導要領実施に向けて、新たな教育課題に挑戦する姿勢を持つ教職員

【本年度の重点目標】

- ①「自己安全管理」の定着
感染防止対策や災害対策への意識を高め、自他の命を守ることに高い意識を持つ生徒を育成する。
- ②学力向上
生徒一人1台タブレットの使い方の研究・研修を行い、「主体的な学び（予習を中心とした学習形態を推進し、予習をしていることを前提とした授業づくりを工夫する等）」「学び合う活動（対話的学び）」を充実させ、教師主導の「講義型」の授業から生徒中心の「支援型」への変換を図る。
- ③「生きる力」の育成
「表現力」「発信力」「コミュニケーション力」を高め、自ら考え、問題を解決していける生徒の育成。
- ④組織的な生徒指導
いじめを絶対に許さないという確固たる方針のもと、早期発見・早期解決に務め生徒の心に寄り添った組織的な生徒指導を進め、全ての生徒がいきいきと生活できる仲間づくりを進める。
(学年担任制、定期的なアンケート、教育相談、ノート指導、校内巡視等で、未然防止・早期対

応を徹底する。また、保護者・関係機関と連携しながら情報モラル教育を計画的に推進する。)

⑤**特別支援教育の充実**

課題を持つ生徒に対して個に応じた適切な指導・支援ができる特別支援教育を充実する。

(個々の教育的ニーズを把握し、全職員で共通理解しながら共通実践を進める。)

⑥**業務改善**

勤務時間適正化を目指して工夫・改善をさらに進め、働きやすい職場を実現する。